

## ストップ高銘柄の材料(2026/1/28)

(株)カブ知恵

No.	コード	会社名	株価	前日比 (%)	材 料
1	7810	クロスフォー	212	+30.86	人工ダイヤモンド関連テーマの再燃が主因か。対米投融資の「第1号」案件として人工ダイヤモンド生産事業が有力視されたニュースがきっかけとなり、人工ダイヤモンド基板・加工関連株全体が物色された。クロスフォーはジュエリー向けダイヤモンド加工がメインで、半導体・産業用人工ダイヤモンド(基板や工具向け)とは直接関係が薄いですが、市場では「ダイヤモンド加工技術」として連想買いが入り、思惑で急騰した可能性。
2	4960	ケミプロ化成	1,340	+28.85	前週(1月21-22日頃)から「高市トレード再燃」としてペロブスカイト太陽電池普及に向けた国策追い風が材料視され、S高を連発。脱レアアース関連の高付加価値製品(省エネ材料や特殊ケミカル)の好調が背景にあり、投資家心理を刺激。
3	3908	コラボス	375	+27.12	1/27 株主優待制度の導入を発表。
4	3446	ジェイテックコーポレーション	1,632	+22.52	前日(1/27)のロイター報道で、日米間の関税合意に基づく総額5,500億ドルの対米投融資において、「人工ダイヤモンドを米国内で生産する計画が有力候補」とのニュースが流れた影響が継続。PAP(プラズマ援用研磨)はダイヤモンド半導体の表面平坦化・ナノ加工で従来法の10-100倍の速度と極限精度(表面粗さ0.47nm RMS)を実現するオンリーワン技術として知られ、ダイヤモンド半導体の実用化(EV・宇宙・量子コンピュータ向け次世代パワー半導体)で恩恵期待が強いため、市場でテーマ株の本命級として急騰。
5	1514	住石ホールディングス	859	+21.16	人工ダイヤモンド関連テーマの連想買い・テーマ株連鎖が最大の火種。住石ホールディングスの本業は石炭輸入販売が主力だが、子会社(住石マテリアルズなど)で工業用人工ダイヤモンド「ファインダイヤ」(SCMファインダイヤシリーズ)の製造・販売を手掛けており、ダイヤモンド粒子・多結晶ダイヤモンドの生産技術が強み。
6	5381	マイボックス	606	+19.76	人工ダイヤモンド関連テーマの連想買い・テーマ株連鎖が最大の火種。マイボックス(Mipox)の本業は精密研磨フィルム・シートの大手で、半導体ウエハー・HDD・光学部品などの微細研磨材が主力。特にダイヤモンド半導体の実用化(EV・高出力電源・量子コンピュータ向け次世代パワー半導体)で、ダイヤモンド表面の平坦化・エッジトリートメント加工に同社の技術が不可欠とされ、歩留まり向上・量産化貢献の期待が市場で急騰要因に。

## ストップ高銘柄の材料(2026/1/28)

(株)カブ知恵

No.	コード	会社名	株価	前日比 (%)	材 料
7	2962	テクニスコ	491	+19.46	人工ダイヤモンド関連テーマの連想買い・テーマ株連鎖が最大のきっかけ。テクニスコの本業はヒートシンク(放熱器)と高精度加工技術(切断・接合・金属膜化など)が主力で、電子部品・半導体向けに強み。人工ダイヤモンド(特に半導体用途)ではダイヤモンド基板の熱管理・放熱部品としてヒートシンクが不可欠で、ダイヤモンドツールや加工用途の間接連想も加わり、市場でテーマ株の本命級として急騰。
8	7794	イーディーピー	658	+17.92	人工ダイヤモンド関連テーマの連想買い・テーマ株連鎖が最大の火種。イーディーピー(EDP)の本業は産総研開発ベンチャーで、気相合成法による単結晶ダイヤモンドの製造・販売が主力。薄板ダイヤ量産技術が強みで、ダイヤモンド半導体(EV・宇宙・量子コンピュータ向け次世代パワー半導体)の基板素材として不可欠。米国内生産計画が実現すれば直接恩恵期待が強く、市場でテーマ株の筆頭として急騰。
9	6166	中村超硬	682	+17.18	人工ダイヤモンド関連テーマの連想買い・テーマ株連鎖が最大のきっかけ。中村超硬の本業はダイヤモンド工具(ダイヤモンド電着ワイヤソーなど)の大手で、シリコン・サファイア・セラミックスなどの切断・精密加工に特化。特にダイヤモンドワイヤは半導体ウエハー切断や宝石加工で使用され、人工ダイヤモンドの製造・加工工程で不可欠なツールとして市場でテーマ株の本命級と位置付けられた。
10	6366	千代田化工建設	1,026	+17.12	同社が1/28に発表した適時開示で、2026年3月期通期業績予想を一転大幅増益へ修正(経常利益を前回予想から2.7倍増益へ、43期ぶりの最高益更新見込み)。これが買い材料。A種優先株式の償還方針に関する合意(三菱商事との間で早期償還を目指す定款変更)も同日開示。これにより財務負担軽減と株主還元期待が高まり、株価を後押し。
11	6140	旭ダイヤモンド工業	1,040	+16.85	人工ダイヤモンド関連テーマの連想買い・テーマ株連鎖が最大の火種。半導体ウエハー切断・精密研磨・宝石加工などで人工ダイヤモンドの製造・加工工程に不可欠な工具を提供しており、米国内生産計画が実現すれば工具需要爆発の直接恩恵期待が強く、市場で「人工ダイヤのアドバンテスト」ポジションとして急騰。
12	3103	ユニチカ	564	+16.53	AIブームによる半導体パッケージ基板向け「ハイエンドガラスクロス(ガラス繊維クロス)」の供給逼迫が引き続き買い材料。ユニチカのガラス繊維事業部はIC分野向け織物・加工品を主力としており、プリント基板用クロス(ガラスクロス)でAI関連需要に間接的に絡むポジション。クアルコムがユニチカを訪問し、供給拡大を打診したとの報道(Nikkei Asia、iClarifiedなど)への思惑も。

ストップ高銘柄の材料(2026/1/28)

(株)カブ知恵

No.	コード	会社名	株価	前日比 (%)	材 料
13	4461	第一工業製薬	10,670	+16.36	28日発表の2026年3月期業績予想および配当予想の大幅上方修正が直接の材料。同日15:00に発表された第3四半期決算・通期予想修正で、今期経常利益を20%上方修正(最高益予想を上乗せ)、配当も10円増額(年間140円予定)。AIサーバー・データセンター需要拡大による電子材料特需が業績を牽引し、市場で即座に好感。
14	4479	マクアケ	1,119	+15.48	1/27 26年9月期1Q業績を発表。1Qの営業利益は、前年比232%増の3.3億円となった。